

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ててスクール 武蔵浦和教室			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日 ～ 2024年 12月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日 ～ 2024年 12月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害を持った子やグレーゾーンの子に対する進学や将来の自立した生活に向けてのサポート。	学校や塾などでは対応できない特別支援学校の受験に向けた取り組みや、グレーゾーンの子達に対する進学相談、将来の自立した生活に向けての日常生活に必要な力の構築の為、必要な学習支援の他、パソコンのタイピングや音読ソフトを使った読書、面接等にも力を入れているので、保護者から感謝される事が多い。	学校等の教育機関との連携を一段と深めたり、就労後に必要な能力をさらに伸ばすことが出来る様に新しい支援方法などを絶えず検討して行く。
2	サービス提供時において、少人数のグループに分ける事で、きめ細かなサポート。	サービスを提供する時間は、一人一人にしっかりとをした支援を行える様に少人数のグループに分けてサービスを提供すると共に、休憩時間には、全体で遊びが出来る様に工夫する事で、個人や全体におけるきめ細かなサポートを行える体制を整えている。	今後もきめ細かいサービスを提供する為に、創意工夫に取り組む。
3	職員全体の風通しが良い事や希望する研修等に参加しやすい。	支援を行うプログラムに関して、教室全体で話を行い、全職員の意見を聞いて支援に反映できる環境が整えられている。 また、困った時や何か相談がある時等も、すぐに対応してくれるので、相談がしやすい。 研修に参加を希望すると、柔軟に勤務日程を調整してくれる他、研修費用も負担してくれるので、研修に参加しやすい。	今後も風通しの良い職場を目指して、意見の言いやすい雰囲気大切にしていける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的なリハビリなどへの取り組み。	言語聴覚士や理学療法士と言った専門職がいない為、活舌の練習などの訓練を求められると出来る事が限られてしまう。	研修などに積極的に参加したり、他の施設と協力する事で、子供や保護者の期待に沿える支援を提供出来る様に取り組む。
2	バリアフリーへの対応。	建物の構造上、仕方のない事だが、階段を上らないと教室に入る事が出来ないなので、バリアフリーに限界がある。	建物の構造上の仕様は変更できないので、教室内においては、可能な限りバリアフリーを意識した配置や道具をそろえる等、今後も意識的なバリアフリーなどを心掛けていく。
3	運動の支援の提供。	現在、運動は工作活動やパソコンなどを通じた指先の巧緻性を高めたり、正しい姿勢の構築等が中心となっている。	施設の広さに左右されず、手先の運動・足の運動など省スペースでも利用児が楽しく取り組みそうなプログラムを取り入れる。